

信仰と近代化

同志社大学大学院神学研究科

中野 美加

1. はじめに

- ✧ 神学とは
- ✧ ユダヤ教の一派として歩み始める
- ✧ 弁証論としてのキリスト教神学
- ✧ 現代の神学について

2. 近代化の波

- ✧ 宗教改革により再発見されたキリスト者の自由
- ✧ その予期せざる結果としての世俗化（近代化）
- ✧ 世俗化の波の中で信仰を持ち続けるということ

3. 「科学的」というペルソナ

- ✧ エヴィデンスの問題～科学者が信仰を持つということ
- ✧ 死生観の変遷（スペースシャトルが飛ぶ時代の天国）
- ✧ 臨死と信仰の問題～信仰は役に立たないという考え方

3. Allport の宗教性の研究から考えられること

- ✧ 信仰者は内発的宗教性の獲得を目指すべきなのか
- ✧ 宗教的人間を「科学的に」測る必要性はあるのか
- ✧ 宗教心理学は現場に役立つのだろうか

4. 終わりに

- ✧ 研究の軸足について
 - † （宗教）心理学から神学へのアプローチ
 - † 神学から宗教心理学へのアプローチ

主な参考文献

Allport, G.W. 1966 The Religious Context of Prejudice. *Journal for the Scientific Study of Religion* 5 447-457.

金児曉嗣 1999 心理学と聖と俗 人文研究 大阪市立大学文学部紀要 Vol.51 第10分冊、p37-50。

ハリソン、エヴェレット F.他編（神学辞典翻訳編集委員会訳） 1972 神学事典 いのちのことば社

キューブラ・ロス、E.（鈴木晶・訳） 2001 死、それは成長の最終段階 中央公論新社（Kubler-Ross, Elizabeth 1975 *Death: The Final Stage of Growth*）。